

# 労働祭

(譜一高寮歌)  
注連之助作

一

此の世の富も繁榮も  
われ等が汗の末になる  
われ等が手をば置く時は  
世界も闇となりぬべし  
汗の値ひの貴さを  
いざ遊民に示さばや。

二

國と國とに隔つれど  
賃銀奴隷の屈辱に  
悲憤は同じ労働者  
國の境を今日越へて  
團結力を試すべく  
堅き握手を交すかな。

三

史を按ずればあゝ茲に  
血を以て染めし三十年  
今日メーデーの祝祭に  
金盞酒はあらざれど  
乾坤ゆるぐ喊の聲  
未來は我等のものなるぞ。

# メーデーの歌

(譜一高寮歌)

一

あゝメーデーよ、メーデーよ  
飢餓窮乏の恐怖なき  
自治労働の新社會  
建設すべき我々の  
志氣を天下に示すべき  
一年一度の祝祭よ。

二

あゝメーデーよ、メーデーよ  
奪ひ去られし人類の  
正義と自由を萬民に  
恢復すべき團結の  
威力を世界に示すべき  
一年一度の祝祭よ。

三

あゝメーデーよ、メーデーよ  
地球をあげて共通の  
プロレタリアの祝祭よ  
歡び誇り親愛の  
労働勝利の喊の聲  
大地轟け天も呼べ。